



あすか野小だより NO.14

☆☆☆ 一人ひとりが輝く学校 ☆☆☆

生駒市立あすか野小学校
学校だより 2025.2.3

地域の方をお招きして昔遊びにチャレンジ

1月23日、3地区の老人会の方をお招きして、1年生が昔遊び体験(ダルマ落とし・コマ・おはじき・めんこ・けん玉・お手玉)をさせていただきました。2時間で5か所を回るため、各遊びの時間は10分足らず。子どもたちは真剣そのものです。始めは、お手玉を同時に投げてしまったり、めんこをひっくり返せなかったり、コマのひもを上手に巻き付けられなかったりと悔しがっていましたが、地域の方に優しく教えてもらったり、上手にできる友達のまねをしたりする中で、できるようになっていきました。活動を通して、良かった点が3つあります。

- ① 子ども・・・遊びが上手になる。
 - ② 地域の方・・・昔を思い出して、楽しむことができる。
 - ③ 何より子どもの成長と一緒に味わうことができる。
- 笑顔あふれる素敵な会になりました。来年度もたくさんの方にお越しいただきたいと思います。白朗会、松寿会、永寿会の皆様、ありがとうございました。



3年生があすか野の歴史を学ぶ

生駒ふるさとミュージアムの学芸員和田さん・吉田さんにお越しいたき、地域の歴史について学びました。40年程前に山を切り拓いてあすか野ができた頃や白庭台駅ができた頃の様子を知りました。昔の道具を見せてもらって、子どもたちは大喜びでした。



●とうみと白金カイロが特におもしろかったです。昔はふみきりがなかったことに驚きました●ひいおばあちゃんが生まれた昭和の初めの頃の様子を知ることができました●歴史が大好きなのでとてもうれしかったです●昔の事を家族に教えることができました。

幼稚園や保育園の交流を大事に



あすか野幼稚園、白庭台幼稚園、あすかの保育園、はな保育園、うみ保育園、もり保育園の6つの幼稚園と保育園の年長児を招いて、1年生の子どもたちが、保幼小交流会「おもちゃランドで遊ぼう」を開催しました。目的は「新1年生となる園児を楽しませよう」です。生活科の時間を使って、秋の実を使ったおもちゃをつくり、試行錯誤しながらルールを考え、楽しいゲームを準備し、当日を迎えました。1年生が頼もしく、誇らしかったです。

以前、上智大学の奈須正裕教授(中央教育審議会委員)のご講演を聴かせていただいたことがありました。講演の冒頭、ある幼稚園での出来事「劇の配役が決まらない。主役をやりたい子がたくさんいる。どうしたらいいだろう?」という話が印象に残りました。

先生 「どうやって決める?」
 園児1 「じゃんけんがいい。」
 園児2 「くじびきがいい。」
 園児3 「ぼくは、にらめっこがいいと思う!」
 先生 「どうして?」
 園児3 だって、にらめっこだったら、 が るでしょ。
 ※答えは、「だって、にらめっこだったら、負けた子が笑っているでしょ。」とのこと。奈須教授から、「このような育ちや知性が、今求められている学力です。」とご教示いただきました。



本校の1年生が考案したオセロです。黒玉と白玉の替わりが、どんぐりといしのみ(セロハンテープをつけて区別)。どんぐりに挟まれると、いしのみをどんぐりに取り換えるというオリジナルルールです。面白いですね。

★あすか野幼稚園さんとの交流

1年生の担任と南本主幹が中心となって、年間を通して様々な活動を行っています。

